

Vol.66

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-06-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00066306

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.





資料館だより

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／開催案内
- 3… 令和3年度入館者数／資料館入館者数の推移
アウトリーチ展入場者数
- 4… 移管・寄贈資料

東京帝国大学庭球部主催
全国高等学校庭球大会優勝杯レプリカ

TOPICS

埋蔵文化財調査センターを統合し、2部門制による新体制がスタートしました!!

令和4年4月1日、金沢大学資料館は、保有資料の一元化、生涯学習の一層の推進を図るため、金沢大学埋蔵文化財調査センターを統合しました。

埋蔵文化財調査センターは、平成9年に設立された学内共同利用施設で、約25年にわたり角間・宝町・鶴間・東兼六の各キャンパスにある埋蔵文化財包蔵地(いわゆる遺跡)の緊急発掘調査を担ってきました。センターの機能は資料館が引継ぎ、構内遺跡から出土した埋蔵文化財を資料館分館(旧埋蔵文化財調査センターの建物)で適切に保管していきます。

この統合と同時に、資料館には教育・展示部門と研究・調査部門の2部門が設けられました。モノ資料約77,000点、文書資料約11,000点、そして新たに加わった200,000点以上の埋蔵文化財資料を教育・展示及び研究・調査に積極的に活用し、学内外の発展に広く貢献することを目指します。

新体制となった金沢大学資料館を引き続きご利用くださいますようお願いいたします。



資料館(上)と分館(下)

展示活動報告

令和3年度
後期企画展

「財(たから)のまち!? 宝町2 一宝町遺跡第20次発掘調査速報展」開催

会期 令和4年2月1日～令和4年3月11日 会場 資料館展示室

令和3年8月2日～9月24日、金沢大学埋蔵文化財調査センターは、宝町キャンパスで附属病院機能強化棟新営工事に伴う宝町遺跡第20次発掘調査を実施しました。

医薬保健学域医学類と附属病院がある宝町の地は、近世には金沢城下町の南東端にあたり、加賀藩の与力町や寺院があったところです。その後、明治38年に石川県金沢病院が建設されて以降は、金沢医学専門学校、金沢医科大学及び附属医院と、現在にいたるまで医学校と病院の敷地として利用されてきました。

今回の発掘調査でも、近世の与力町の遺構・遺物や近現代の歴代病院の遺構・遺物が見つかりました。そこで本企画展では、資料館と埋蔵文化財調査センターの連携企画展として、実際の出土遺物や記録写真と共に、その成果を速報的に紹介しました。

近世の出土遺物としては、土坑(どこう)からまとまって出土した土人形や陶磁器類を展示し、加賀藩の武家地の様子をお伝えしました。近現代の出土遺物としては、歴代の病院食器や薬瓶を展示し、金沢大学附属病院の前身病院の様子をお伝えしました。加えて、数片ずつ出土した古代の須恵器、中世の珠洲焼も展示し、与力町形成以前からこの地で人々が暮らしていた可能性もお伝えしました。

あくまでも整理途中の速報展ですが、宝町キャンパスの地下に眠っていた財(たから)を学内外の方々に知っていただく良い機会となりました。

また、本企画展では、宝町遺跡だけでなく、過去に発掘調査された角間遺跡・鶴間遺跡・東兼六遺跡の代表的遺物も併せて展示しました。角間遺跡の縄文土器・青磁水注・墨書土器、鶴間遺跡の監獄食器、東兼六遺跡の近世陶磁器のいずれも、金沢大学の各キャンパスに遺されていた貴重な財です。

なお、前頁でお知らせしたとおり、金沢大学埋蔵文化財調査センターは資料館に統合されましたので、この速報展がセンター最後のイベントとなりました。



展示解説

開催案内

令和4年度
前期企画展

「かかげよ学府に燦(さん)たる燈(ともしび)ー金沢大学部活動物語ー」

会期 令和4年3月30日～令和4年7月8日 会場 資料館展示室

資料館展示室では、3月30日(水)から前期企画展「かかげよ学府に燦たる燈ー金沢大学部活動物語ー」を開催中です。

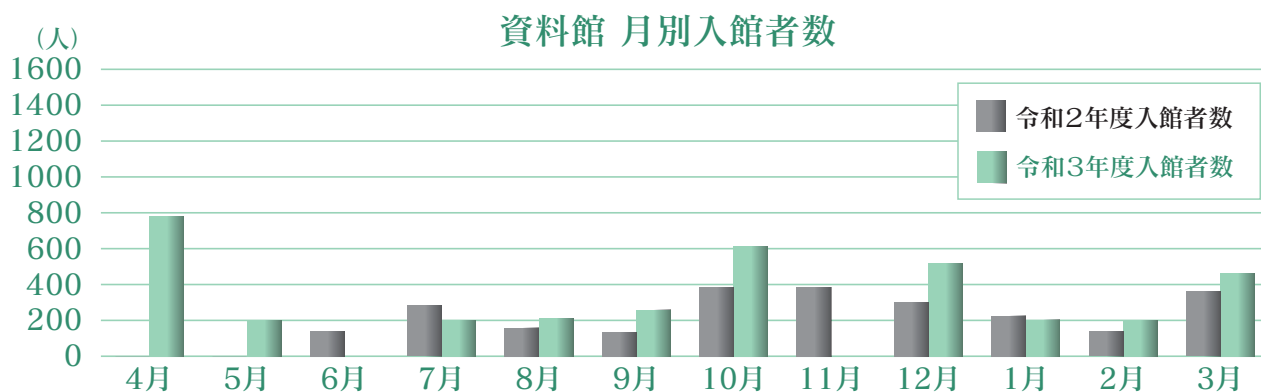
今回の企画展では、金沢大学の数ある部活動の中から、剣道部、テニス部、ワンダーフォーゲル部、そして現在は活動を休止しているものの、過去に世界未踏峰の初登頂を成し遂げた山岳部を取り上げて、パネル解説と共に関連する資料を展示し、その活動に焦点を当てています。また、コロナ禍でがんばっている現役生を応援する意味もあり、現在の各部活動の様子もお伝えします。

本企画展にあたっては、原稿執筆や資料の提供等について各団体のOB・OGに御協力いただきました。また当館収蔵の資料では、第四高等学校教授でテニス部部长であった動植物学者の市村塘(つつみ)氏の書「和致祥(わちしょう)」が展示室初出展となります。さらに、山岳部と剣道部のかつての活動を記録した動画もご覧いただけます。

学府にかかげられた数々の「燦たる燈」の一端を、高きに輝く目標に向かって努力を続ける部活動の歩みの中に振り返ります。多くの方々のご来館をお待ちしております。



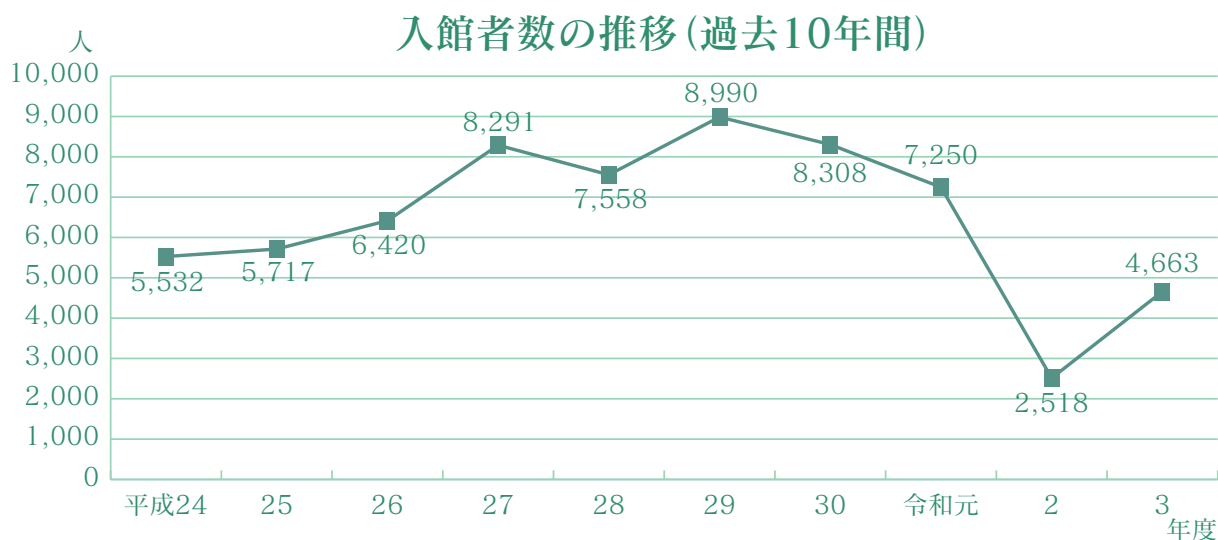
令和3年度入館者数



入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	0	0	141	283	160	134	385	386	302	227	138	362	2,518
令和3年度	781	199	0	198	211	259	612	1,019	518	203	201	462	4,663

※令和3年度 6月分の入館者はカウンターの故障により不明

資料館入館者数の推移



アウトリーチ展入場者数

令和3年度 資料館アウトリーチ展入場者数

	会場	開催期日	開催日数	入場者数	備考
金沢大学資料館写真展 「あのころの金沢大学」	金沢城公園 鶴の丸休憩館	R3.10.15(金) ～11.4(木)	21日	14,809	石川県兼六園 管理事務所調べ
計				14,809	

令和4年1月～令和4年4月
移管・寄贈資料

今期も貴重な資料を移管・寄贈していただきました。当館にて大切に保存し、活用させていただきます。ここに、改めて感謝申し上げます。

移管

- 金沢大学歴史資料(DVD, 冊子)一式(37点)
- 『昭和天皇行幸記念写真帳』
- 『天皇陛下の奉迎について』(石川県奉迎委員会編)
- DVD(上記2点のPDFデータ収納)

総務部総務課

金沢大学工学部100周年記念事業会会長
森本 章治 氏



『昭和天皇行幸記念写真帳』



『天皇陛下の奉迎について』

寄贈

- 旅行部寄せ書き(軸装)一幅
- 金沢医学専門学校関係資料一式(13点)
- 北辰アルバム写真データ(DVD-R, SDカード)
- 計算尺
- 『三體千字文』

白坂 裕子 氏

重松 正明 氏

鈴木 邦生 氏



北辰アルバム



計算尺



『三體千字文』

編集後記

4月に着任しました井上と申します。これまで美術館で勤務しており、資料館業務は初めてなので、資料の多様さや膨大な収蔵点数にただただ驚いています。貴重な資料と接することができる機会を大切にしながら、日々の驚きと発見を皆様に役立てていただける情報として発信できるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(井上佳那子)

金沢大学資料館だより

第66号 令和4年5月発行



[発行/編集] 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050

Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.kanazawa-u.ac.jp>